

# 副交感神経支配下に

## 安保先生 ユーモア交えて講演

2面からのつづき

最後に「今後とも同じ函南町でがんばっている豊受自然農と共に手をとりあっていききたい」と由井代表の取組みを高く評価していることを述べた。

この後、女優の杉田かおるさんが「この私が変われた理由」と題して語った。子役で芸能界入りし、両親の離婚、母親への思い、自然農を教えたもらった長崎の故松尾靖子さんへの感謝などを語ったが思い出して涙ぐむシーンも。そして東日本大震災を

契機に福岡に移住しての自然農との出会い、故松尾靖子さんとブータンへの旅、山形県で伝統野菜の種を守り継ぐ映画「蘇りのレシピ」との出会いを通じて「自然な種」の重要性を知ったと語った。

用賀の豊受レストランに初めて訪ねたのも「近くでロケがあり、昼食するたために歩いて」と豊受オーガニックの旗が目に入り足を運んだ」と語り、その際に由井寅子代表と会うことになった。由井寅子代表は日本テレビで活躍していた時に幼い杉田かおるさんに会っ

ていたとのこと。

母親の介護を通して、身も心も苦しくクタクタになっていった時期に運命的に寅子先生と出逢い、寅子先生との相談会の中で父親に対して抑えていたマイナスの感情を表現していくことで癒されていったことも涙を流しながら語った。

杉田かおるさんは、テレビの仕事で忙しい中でも出来る限り母の介護をしており、その時に安心安全な豊受のレトルトが老人にも安心して使え、とても役に立ったと云っていた。杉田かおるさんの話に感動し、会場内

で涙を流しながら聞いていた人が多かった。

また、杉田かおるさんは日本豊受自然農函南農場の圃場を借りて、ハーブや野菜の栽培を始めて

この後、大会会長である由井寅子さんが「医食農健—自然な農業が人々を健康にする—」と題する基調講演を行った。由井大会会長は、日本農業が農業、化学肥料で疲弊していることをスバリ指摘。「今の農地で育った農産物の栄養不足から現代人のミネラルが不足し、多くの病気が引き起こされている農業・グリ



函南農場でハーブ、野菜の栽培を始めた杉田かおるさん

ホサートの問題点などを提起し、対策の一つとして、人間が持っているシキミ酸を守ること、腸内環境を整えること、そのためには自然な農業、そこで育った野菜が重要な役割を持つことを強調した。

次にホメオパシーには食原病への解決法がある」と映像を通して紹介した。

者が腸にミネラルをサポートし、菌のレメディーやトリプトファンが多く含まれるレメディーを1度の相談会で劇的に改善された様子を紹介した。GMO作物によりミネラル欠乏の影響を鑑み、それぞれのレメディーを選んだことを解説した。

また、難病、セリアック病によって腹痛を体中のけぞらせながら泣き叫んでいた女の子もまた腸



「医食農」の書籍の表紙

とミネラルサポートや腸のレメディーをとることで、傷みがなくなり、ミネラル吸収が高まり、すくすく成長して行く様子が上映された。

その後、日本豊受自然農の土づくりについて映像で紹介。ミネラルを多く含む畑を作るために、落ち葉や野菜のくずをほはじめ日本豊受自然農の乳酸発酵液、麹などの微生物、ハーブやレメディーを使った生きた土づくりの様子を映像で紹介された。そこで生き生き育った野菜たちと豊受の圃場で元気に働く日本の自然農を担う若者達、ベテラン勢の溢れるエネルギーがスクリーンを通して伝えられた。

また、現代の医療は、血圧が高いことを病気として扱ったりしますが、その人によって違います。病気になった臓器を犯人とする傾向があるが、38億年をかけて進化した一つの細胞に支えられた我々の体は、病気を克服しようとして反応しているだけで、その人の日々の生活習慣、考え方、生真面目すぎるからくるストレスなど、その人自身の生きざまが真の原因であり、それを映し出したものでしかない。

そのことを理解し、生き方、考え方、そして食を変えることが必要などと事例を挙げながら語った。

の消化管活動は、リラックスの体調をつくる副交感神経支配下にありま



「医食農健—自然な農業が人々を健康にする」と題して講演する由井会長



「免疫力と食の関係」を語る安保新瀧大名名誉教授



自然派小児科医の高野弘之豊受クリニックの院長らがパネラーに

6次産業を実践する日本豊受自然農は、野菜から作られた化粧品、加工品など好評を博していることなども紹介された。

最後に行なったディスカッションのパネリストは講演者に加え豊受クリニックの自然派小児科医の高野弘之院長、池田整治氏、「免疫力と食の関係」と題して独特の語り口でユーモア交えて講演した。

# がんばれ九州! がんばれ日本!

「乗り越えられない苦難は来ない」という心構えをモットーに希望を持たれて生きていただきたいと思ひます。



熊本地震の被災者の皆様、私達の出来る限りで皆様をサポートさせていただきます。つらい時、苦しい時、心が萎えそう時、皆で力を合わせてこの苦難を乗り越えていきましょう。  
— ホメオパシーの恩恵がすべてに降り注がんことを!  
万物生命、その存在自体に感謝し、命そのものを生きられんことを! —  
日本ホメオパシー医学協会 会長 由井寅子

日本ホメオパシー医学協会では、各地のJPHMA認定ホメオパスが運送する地震対策センターと連携し、PTSD(AAA) 無料配布ホメオパシー無料応急相談対応などの【熊本地震 ホメオパシーサポート活動】を行っています。被災者の方々を支援する義援金受付口座を開設いたしました。寄付していただいた募金は、義援金として直接被災地に届けます。

◆三井住友銀行 渋谷駅前支店 普通 4129300 ◆名義 一般財団法人 日本ホメオパシー財団

※お振込の場合、ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担をお願いしております。

ショップに並んだ豊受自然農函南産の白菜。収穫後も上に向かって花を咲かせ次の世代の命を作ろうとしている。そんな野菜のようにたくましく生きてほしい。

JPHMA 一般財団法人 日本ホメオパシー財団 Japanese Homoeopathic Medical Association 〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2丁目2番3号 矢藤第3ビル2F TEL:03-5797-3073 FAX:5797-3074(月火休) E:mail office@jphma.org http://jphma.org/



PTSD サポートのレメディー Aconite+Arnica+Arsenicum テーマ: PTSD、心の不安  
◆Acon. (アコナイト/ヨウシュトリカブト)  
◆Arn. (アーニカ/ウサギギク)  
◆Ars. (アーセニカム/三酸化ヒ素)